

# 国立国語研究所学術情報リポジトリ

表紙, 目次, 奥付, その他

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-03-31 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://repository.ninjal.ac.jp/records/1098">https://repository.ninjal.ac.jp/records/1098</a>

国立国語研究所報告 79

# 研究報告集

— 5 —

国立国語研究所

1984

## 刊行のことば

『研究報告集』は、国立国語研究所において、研究員等がそれぞれの研究段階で行った基礎的研究や附随的研究、また研究方法に関する実験的調査、結果を確認するための検証調査等についての小報告をまとめて公にするものです。

今回は、9編の論文をもってその第5集とし、ここに刊行することになりました。

国語研究の上に寄与することができ、また教示、批判が得られれば幸いです。

昭和59年3月

国立国語研究所長 野 元 菊 雄

# 目 次

「～が ある」の用法——(あわせて)「人がある」 と「人がいる」の違い——	高橋 太郎…… 1 屋久 茂子
雑誌九十種資料の外来語表記	宮島 達夫……43 高木 翠
敬語の使い分け点	野元 菊雄……77
津軽方言における単純疑問と疑問詞疑問 スカウト方式による用例採集法の実験について	沢木 幹栄……91 ……………高梨 信博……97
漢字の読み書き調査の調査方法 ——調査問題の作成方法の検討を中心に——	島村 直己… 127
会話形式によるファイル管理情報の生成	……………斎藤 秀紀… 145
有形代名詞と無形代名詞 ——日本語とインドネシア語の比較——	……………正保 勇… 163
日本語と外国語との照応現象に関する対照研究	……………上野田鶴子… 199 正保 勇 田中 望 菱沼 透 日向 茂男

## 『研究報告集』収録論文一覧

### 第1集

- 「も」によるとりたて形の記述的研究 高橋太郎  
雑誌九十種資料の漢語表記 宮島達夫・高木 翠  
談話行動の実験社会言語学的研究——目標と資料収集方法について——  
江川 清  
身ぶりの記述について 江川 清  
身振りを記録する——「変位」の記録表試案—— 杉戸清樹  
談話行動の計量的研究について 米田正人  
表現法の調査方法について 佐藤亮一・真田信治・沢木幹栄  
明治初期東京人の階層と語種との関係  
——『安愚楽鍋』を中心として—— 飛田良文

### 第2集

- 意味分野と語種 宮島達夫  
日本語の機能動詞表現をめぐって 村木新次郎  
談話行動の総合テキストについて 南 不二男・江川 清・米田正人・  
杉戸清樹  
文章朗読における調音上の特徴について 高田正治  
幼児の使用語と語の意味の理解  
——満2歳当日の一日調査から—— 大久保 愛  
語の意味発達——最近の研究動向から—— 岩田純一  
談話における「はい」と「ええ」の機能 日向茂男  
音韻論における日本語五母音体系 石井久雄

### 第3集

- コ・ソ・アの指示領域について 高橋太郎・鈴木美都代  
叙法副詞の意味と機能——その記述方法を求めて—— 工藤 浩  
私生児を意味する方言のこと 渡辺友左

撓音の実験音声学的研究 高田正治

新聞の漢字含有率の変遷——明治・大正・昭和を通じて—— 梶原滉太郎

就学前幼児の語彙——4児による日常生活語の実態——

大久保 愛・川又瑠璃子

各種文章の字種比率 佐竹秀雄

#### 第4集

迂言的なうけみ表現 村木新次郎

動詞とその下接語の発達の実態 大久保 愛

——男児の2歳から3歳前半まで——

小学校低学年用国語教科書の用語 島村直己

分散処理端末における簡易型エディタについて 齋藤秀紀

昭和59年3月

国立国語研究所

〒115 東京都北区西が丘 3-9-14

電話東京 (900) 3111 (代表)

UDC 809.56 (082)

NDC 810.5

## 国立国語研究所刊行書一覧

### 国立国語研究所報告

1	八 丈 島 の 言 語 調 査	秀英出版刊	品切れ
2	言 語 生 活 の 実 態 ——白河市および付近の農村における——	〃	〃
3	現 代 語 の 助 詞 ・ 助 動 詞 ——用法と実例——	〃	2,000円
4	婦 人 雑 誌 の 用 語 ——現代語の語彙調査——	〃	品切れ
5	地 域 社 会 の 言 語 生 活 ——鶴岡における実態調査——	〃	〃
6	少 年 と 新 聞 ——小学生・中学生の新聞への接近と理解——	〃	〃
7	入 門 期 の 言 語 能 力	〃	〃
8	談 話 語 の 実 態	〃	〃
9	読 み の 実 験 的 研 究 ——音読にあらわれた読みあやまりの分析——	〃	〃
10	低 学 年 の 読 み 書 き 能 力	〃	〃
11	敬 語 と 敬 語 意 識	〃	〃
12	総 合 雑 誌 の 用 語(前編) ——現代語の語彙調査——	〃	〃
13	総 合 雑 誌 の 用 語(後編) ——現代語の語彙調査——	〃	〃
14	中 学 年 の 読 み 書 き 能 力	〃	〃
15	明 治 初 期 の 新 聞 の 用 語	〃	〃
16	日 本 方 言 の 記 述 的 研 究	明治書院刊	〃
17	高 学 年 の 読 み 書 き 能 力	秀英出版刊	〃
18	話 し こ と ば の 文 型 (1) ——対話資料による研究——	〃	2,000円
19	総 合 雑 誌 の 用 字	〃	品切れ
20	同 音 語 の 研 究	〃	〃
21	現 代 雑 誌 九 十 種 の 用 語 用 字 (1) ——総記および語彙表——	〃	〃
22	現 代 雑 誌 九 十 種 の 用 語 用 字 (2) ——漢 字 表——	〃	〃

23	話しことばの文型 (2) ——独語資料による研究——	秀英出版刊	2,000円
24	横組みの字形に関する研究	〃	品切れ
25	現代雑誌九十種の用語用字 (3) ——分析——	〃	〃
26	小学生の言語能力の発達	明治図書刊	〃
27	共通語化の過程 ——北海道における親子三代のことば——	秀英出版刊	〃
28	類義語の研究	〃	〃
29	戦後の国民各層の文字生活	〃	400円
30-1	日本語地図 (1)	大蔵省印刷局刊	品切れ
	日本語地図 (1)《縮刷版》	〃	17,000円
30-2	日本語地図 (2)	〃	品切れ
	日本語地図 (2)《縮刷版》	〃	17,000円
30-3	日本語地図 (3)	〃	品切れ
	日本語地図 (3)《縮刷版》	〃	17,000円
30-4	日本語地図 (4)	〃	品切れ
	日本方言地図 (4)《縮刷版》	〃	17,000円
30-5	日本語地図 (5)	〃	品切れ
30-6	日本語地図 (6)	〃	〃
31	電子計算機による国語研究	秀英出版刊	〃
32	社会構造と言語の関係についての基礎的研究(1) ——親族語彙と社会構造——	〃	〃
33	家庭における子どものコミュニケーション意識	〃	350円
34	電子計算機による国語研究(Ⅱ) ——新聞の用語用字調査の処理組織——	〃	品切れ
35	社会構造と言語の関係についての基礎的研究(2) ——マキ・マケと親族呼称——	〃	〃
36	中学生の漢字習得に関する研究	〃	〃
37	電子計算機による新聞の語彙調査	〃	〃
38	電子計算機による新聞の語彙調査(Ⅱ)	〃	〃
39	電子計算機による国語研究(Ⅲ)	〃	〃
40	送りがな意識の調査	〃	1,500円

41	待 遇 表 現 の 実 態 —松江24時間調査資料から—	〃	900円
42	電子計算機による新聞の語彙調査(Ⅲ)	秀英出版刊	1,200円
43	動詞の意味・用法の記述的研究	〃	6,000円
44	形容詞の意味・用法の記述的研究	〃	4,000円
45	幼児の読み書き能力	東京書籍刊	4,500円
46	電子計算機による国語研究(Ⅳ)	秀英出版刊	700円
47	社会構造と言語の関係についての基礎的研究(3) —性向語彙と価値観—	〃	700円
48	電子計算機による新聞の語彙調査(Ⅳ)	〃	3,000円
49	電子計算機による国語研究(Ⅴ)	〃	900円
50	幼児の文構造の発達 —3歳~6歳児の場合—	〃	品切れ
51	電子計算機による国語研究(Ⅵ)	〃	1,000円
52	地域社会の言語生活 —鶴岡における20年前との比較—	〃	1,800円
53	言語使用の変遷(1) —福島県北部地域の面接調査—	〃	2,500円
54	電子計算機による国語研究(Ⅶ)	〃	1,000円
55	幼児語の形態論的な分析 —動詞・形容詞・述語名詞—	〃	品切れ
56	現代新聞の漢字	〃	6,000円
57	比喩表現の理論と分類	〃	6,000円
58	幼児の文法能力	東京書籍刊	5,500円
59	電子計算機による国語研究(Ⅷ)	秀英出版刊	1,300円
60	X線映画資料による母音の発音の研究 —フォネム研究序説—	〃	2,500円
61	電子計算機による国語研究(Ⅸ)	〃	品切れ
62	研究報告集(1)	〃	1,700円
63	児童の表現力と作文	東京書籍刊	6,000円
64	各地方言親族語彙の言語社会学的研究(1)	秀英出版刊	2,000円
65	研究報告集(2)	〃	3,000円
66	幼児の語彙能力	東京書籍刊	8,000円
67	電子計算機による国語研究(X)	秀英出版刊	1,500円
68	専門語の諸問題	〃	4,000円

69	幼 児 ・ 児 童 の 連 想 語 彙 表	東京書籍刊	6,800円
70-1	大 都 市 の 言 語 生 活 ——分析編——	三省堂刊	7,800円
70-2	大 都 市 の 言 語 生 活 ——資料編——	〃	12,000円
71	研 究 報 告 集 (3)	秀英出版刊	4,800円
72	幼 児 ・ 児 童 の 概 念 形 成 と 言 語	東京書籍刊	6,800円
73	企 業 の 中 の 敬 語	三省堂刊	9,500円
74	研 究 報 告 集 (4)	秀英出版刊	4,200円
75	現 代 表 記 の ゆ れ	〃	2,700円
76	高 校 教 科 書 の 語 彙 調 査	〃	5,000円
77	敬 語 と 敬 語 意 識	三省堂刊	8,000円

——岡崎における20年前との比較——

#### 国立国語研究所資料集

1	国 語 関 係 刊 行 書 目 (昭和17~24年)	秀英出版刊	品切れ
2	語 彙 調 査 ——現代新聞用語の一例——	〃	〃
3	送 り 仮 名 法 資 料 集	〃	〃
4	明 治 以 降 国 語 学 関 係 刊 行 書 目	〃	〃
5	沖 繩 語 辞 典	大蔵省印刷局刊	4,300円
6	分 類 語 彙 表	秀英出版刊	1,800円
7	動 詞 ・ 形 容 詞 問 題 語 用 例 集	〃	1,700円
8	現 代 新 聞 の 漢 字 調 査 (中間報告)	〃	品切れ
9	牛 店 安 愚 楽 鍋 用 語 索 引 <small>雑談</small>	〃	1,500円
10-1	方 言 談 話 資 料 (1) ——山形・群馬・長野——	〃	6,000円
10-2	方 言 談 話 資 料 (2) ——奈良・高知・長崎——	〃	6,000円
10-3	方 言 談 話 資 料 (3) ——青森・新潟・愛知——	〃	6,000円
10-4	方 言 談 話 資 料 (4) ——福井・京都・島根——	〃	6,000円
10-5	方 言 談 話 資 料 (5) ——岩手・宮城・千葉・静岡——	〃	6,000円
10-6	方 言 談 話 資 料 (6) ——鳥取・愛媛・宮崎・沖縄——	〃	6,000円
10-7	方 言 談 話 資 料 (7) ——老年層と若年層との会話——	〃	6,000円
11	日 本 言 語 地 図 語 形 索 引	大蔵省印刷局刊	1,500円

国立国語研究所研究部資料

幼 児 の こ と ば 資 料 (1)	秀英出版刊	3,800円
幼 児 の こ と ば 資 料 (2)	〃	3,800円
幼 児 の こ と ば 資 料 (3)	〃	6,000円
幼 児 の こ と ば 資 料 (4)	〃	6,000円
幼 児 の こ と ば 資 料 (5)	〃	6,000円
幼 児 の こ と ば 資 料 (6)	〃	6,000円

国立国語研究所論集

1	こ と ば の 研 究	秀英出版刊	品切れ
2	こ と ば の 研 究 第2集	〃	〃
3	こ と ば の 研 究 第3集	〃	〃
4	こ と ば の 研 究 第4集	〃	1,300円
5	こ と ば の 研 究 第5集	〃	1,300円

日本語教育教材

1	日 本 語 と 日 本 語 教 育 —発音・表現編—	国立国語研究所 文化庁共編	大蔵省印刷局刊	700円
2	日 本 語 と 日 本 語 教 育 —文字・表現編—	〃	〃	850円
3	日 本 語 の 文 法 (上)	—日本語教育指導参考書4—	〃	450円
4	日 本 語 の 文 法 (下)	—日本語教育指導参考書5—	〃	550円
5	日 本 語 教 育 の 評 価 法	—日本語教育指導参考書6—	〃	700円
6	中 ・ 上 級 教 授 法	—日本語教育指導参考書7—	〃	500円
7	日 本 語 の 指 示 詞	—日本語教育指導参考書8—	〃	500円
8	日 本 語 教 育 基 本 語 彙 七 種 比 較 対 照 表 —日本語教育指導参考書9—	〃	〃	1,000円
9	日 本 語 教 育 文 献 索 引 —日本語教育指導参考書10—	〃	〃	1,400円
10	談 話 の 研 究 と 教 育 I —日本語教育指導参考書11—	〃	〃	550円

国立国語研究所年報 秀英出版刊

1	昭 和 24 年 度	品切れ	4	昭 和 27 年 度	160円
2	昭 和 25 年 度	〃	5	昭 和 28 年 度	品切れ
3	昭 和 26 年 度	160円	6	昭 和 29 年 度	200円

7	昭和30年度	品切れ	21	昭和44年度	品切れ
8	昭和31年度	〃	22	昭和45年度	〃
9	昭和32年度	〃	23	昭和46年度	450円
10	昭和33年度	〃	24	昭和47年度	品切れ
11	昭和34年度	〃	25	昭和48年度	〃
12	昭和35年度	〃	26	昭和49年度	600円
13	昭和36年度	160円	27	昭和50年度	700円
14	昭和37年度	220円	28	昭和51年度	非売
15	昭和38年度	250円	29	昭和52年度	〃
16	昭和39年度	品切れ	30	昭和53年度	800円
17	昭和40年度	〃	31	昭和54年度	1,200円
18	昭和41年度	300円	32	昭和55年度	1,300円
19	昭和42年度	300円	33	昭和56年度	1,300円
20	昭和43年度	品切れ	34	昭和57年度	2,000円

国語年鑑 秀英出版刊

昭和29年版	品切れ	昭和44年版	品切れ
昭和30年版	〃	昭和45年版	1,500円
昭和31年版	〃	昭和46年版	2,000円
昭和32年版	〃	昭和47年版	2,200円
昭和33年版	〃	昭和48年版	2,700円
昭和34年版	〃	昭和49年版	3,800円
昭和35年版	〃	昭和50年版	3,800円
昭和36年版	〃	昭和51年版	4,000円
昭和37年版	〃	昭和52年版	品切れ
昭和38年版	〃	昭和53年版	〃
昭和39年版	〃	昭和54年版	〃
昭和40年版	〃	昭和55年版	〃
昭和41年版	〃	昭和56年版	〃
昭和42年版	〃	昭和57年版	5,500円
昭和43年版	〃	昭和58年版	5,500円

高 校 生 と 新 聞	国立国語研究所 日本新聞協会 共編	秀英出版刊	280円
青年とマス・コミュニケーション	日本新聞協会 国立国語研究所 共著	金沢書店刊	品切れ
国立国語研究所三十年のあゆみ ——研究業績の紹介——		秀英出版刊	1,500円

## 日 本 語 教 育 教 材 映 画 一 覧

(各巻16ミリカラー, 5分, 日本シネセル社販売)

巻 題 名	プリント価格
第1巻* これは かえるです ——「こそあど」+「は～です」——	30,000円
第2巻* さいふは どこにありますか ——「こそあど」+「～がある」——	〃
第3巻* やすくないです, たかいです ——形容詞とその活用導入——	〃
第4巻* なにを しましたか ——動 詞——	〃
第5巻* しずかなこうえんで ——形容動詞——	〃
第6巻* さあ, かぞえましょう ——助 数 詞——	〃
第7巻 うつくしいさらに になりました ——「なる」「する」——	〃
第8巻* きりんは どこにいますか ——「いる」「ある」——	〃
第9巻* かまくらを あるきます ——移動の表現——	〃
第10巻 おかねを とられました ——受身の表現1——	〃
第11巻* どちらが すきですか ——比較・程度の表現——	〃
第12巻* もみじが とてもきれいでした ——です, でした, でしょう——	〃
第13巻* きょうは あめが ふっています ——して, している, していた——	〃
第14巻* そうじは してありますか ——してある, しておく, してしまう——	〃
第15巻* おみまいに いきませんか ——依頼・勧誘の表現——	〃
第16巻* なみのおとが きこえてきます ——「いく」「くる」——	〃
第17巻* みずうみのえを かいたことがありますか ——経験・予定の表現——	〃
第18巻* あのいわまで およげますか ——可能の表現——	〃
第19巻 よみせを みに いきたいです ——意志・希望の表現——	〃
第20巻* てんきが いいから さんぽを しましょう ——原因・理由の表現——	〃

- 第21巻\* さくらが きれいだ そうです —伝聞・様態の表現— //
- 第22巻 あめに ふられて こまりました —受身の表現2— //
- 第23巻 おけいこを みにいっても いいですか —許可・禁止の表現— //
- 第24巻 あそこに のぼれば うみが みえます —条件の表現1— //
- 第25巻 いえが たくさんあるのに とてもしずかです —条件の表現2— //
- 第26巻 このきっぷを あげます —やり・もらいの表現1— //
- 第27巻 にもつを もってもらいました —やり・もらいの表現2— //
- 第28巻 てつだいを させました —使役の表現— //

第1巻～第3巻は、文化庁との共同企画

VTR価格1/2インチカセット3/4インチカセット21,000円

\* 印については日本語教材映画解説の冊子がある。

CONTENTS —5—

- TAKAHASHI Tarō and YAHISA Shigeko: Various Uses of the Noun-ga Aru (Verb Expressing Existence) Construction in Japanese. Addendum: Observations on the Differences between Hito-ga Aru and Hito-ga Iru
- MIYAJIMA Tatsuo and TAKAGI Midori: The Representation of Loanwords in 90 Contemporary Magazines
- NOMOTO Kikuo: Usages of Keigo (Japanese Honorific/Polite Forms)
- SAWAKI Motoei: Yes-no Questions and Wh-questions in the Tsugaru Japanese Dialect
- TAKANASHI Nobuhiro: Collection of Words from Achral Texts Using the Scout Method
- SIMAMURA Naomi: An Inquiry into the Procedures Used to Rate Children's Reading and Writing Abilities of Chinese Characters with Special Reference to the Questionnaires Used for this Rating
- SAITO Hidenori: Generation of File Information Management Using the Interactive Method
- SHOHO Isamu: A Comparative Study of Japanese and Indonesian Pronouns
- UYENO Tazuko, SHOHO Isamu, TANAKA Nozomi, HISHINUMA Toru and HINATA Shigeo: A Contrastive Study of Anaphora in Japanese and Other Languages

THE NATIONAL LANGUAGE RESEARCH INSTITUTE  
3-9-14 NISIGAOKA, KITA-KU, TOKYO

1984